

もう少し宣伝を

田辺 地方の時代というものを本当に生かそうということですね。

ところで山口さんは昨年ミス・ジャパンということで各地をお回りになって、若い女性から見た熊本観光についていかがですか。

山口 熊本ほど恵まれた自然の中にある県はないと思います。山はすばらしい阿蘇、日本では阿蘇が一番すてきな山だと思いますし、海は天草の海があります。城下町の熊本市には熊本城があります。でも以外と知られていないですよ。天草は長崎県ですかと聞かれたことがあって本当に残念に思ったことがあるんです。

阿蘇も熊本県だと知らない人もあるんです。だから熊本にもこういうすばらしい所があるんだと、もう少し宣伝してほしいですね。

田辺 いいものを持っていながら宣伝不足という点、私も痛切に感じています。山口 それと自然と観光をマッチして、若者も、おじいさん、おばあさんにも魅力的な部分をもっと引き出した施設の整備などして、熊本にはこんなすばらしい

所があり、こういうお土産もあるんだとわからせてあげたい気持ちがするんです。

夏の阿蘇は涼しいし、天草にもこんなに美しい海があると。

田辺 本年度は幅広く宣伝をやろうと東京、関西方面を対象にテレビスポットを計画したり、映画を作って各地で利用していただくよう色々と計画を進めています。

菅 私はお客を熊本城に案内するときは必ず瀬戸口門とか櫓方門から案内します。するとお城の石垣の美しさがわかり、同時に観光時間も長くなるわけですね。

例えば、タクシー業者の方もこの門からお入りなさい、車は西大手門でお待ちしていますとかですね。

田辺 熊本には名所、旧跡といわれるものが非常に多いわけですね。装飾古墳は九州、とくに熊本は宝庫といわれています。これらにも観光客の対応が変わってくるということもいえるのじゃないでしょうか。

地方の味を大切に

菅 観光の喜びの一つには違ったものを食べる喜びもあるのではないかと思います。そのへん、熊本には食べながらレクリエーションをするような施設、場が少ないような気がします。

私は初めて芦北地方の「うたせ網」を見ましたが、ああいうのも観光面に生かす方法があるのじゃないかと思えます。

竹下 海で食べるもの、山で食べるものもまったく同じでは観光地の意味はないと思うんです。ですから地域の特産物の振興なども含めたその地域の材料を提供するというのが、観光客の印象に残るんじゃないでしょうか。

それから施設面ですが、ホテルや旅館に行っても今ではわが家の延長みたいな部屋ばかりでしょう。ですから施設も豪華なものではなく、山小屋的なものでお客を迎えるというものがあっていいんじゃないかと思えます。

田辺 お土産というのは、他に持たせるばかりでなく、県内の人にも大いに利用していただきたいということで先日特産品の審査会をやったわけです。食料品だけで二十七種も出品されていました。これを十一月二十二日からのふるさと

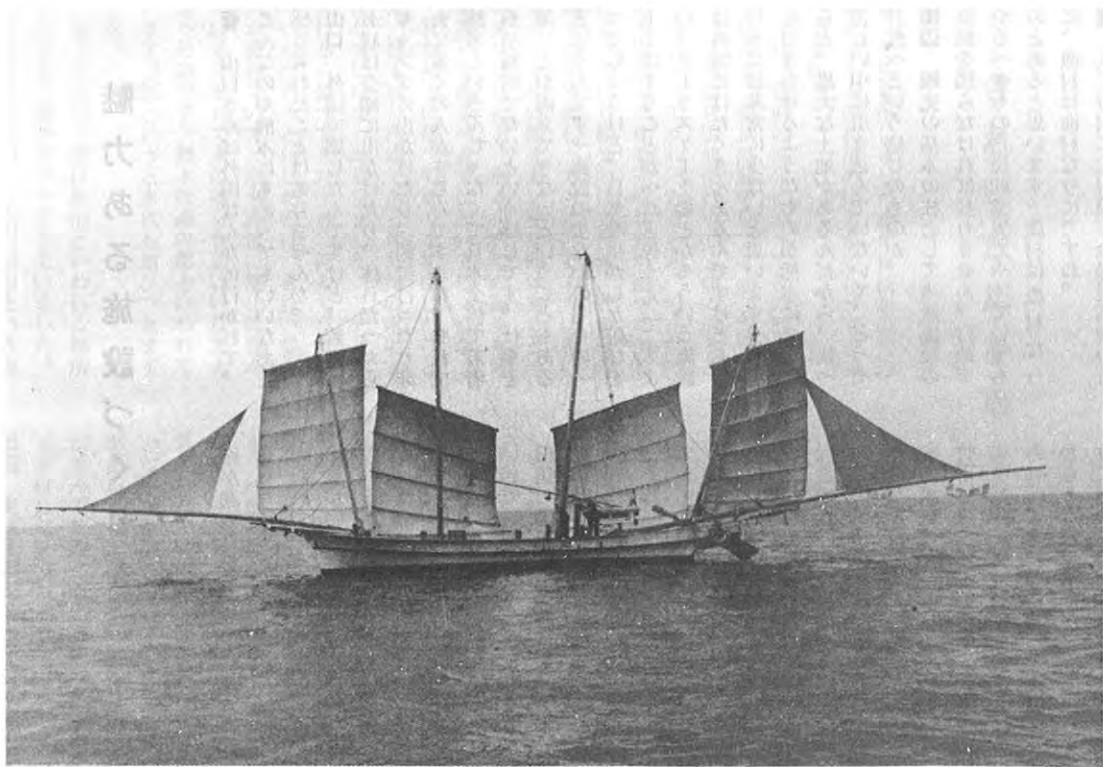
祭りに農産物や、伝統工芸品などと共に出品し、展示即売会などやって一般の方に知っていただく機会を設けたわけです。

それから、土産は単品でつくられていますね。これを物産振興協会が中に入れて複数のメーカーの土産品をセットにつくれないかと思えます。単独の業者ではつくれませんからね。もったい家では家族全部が喜ぶようなものをですね。

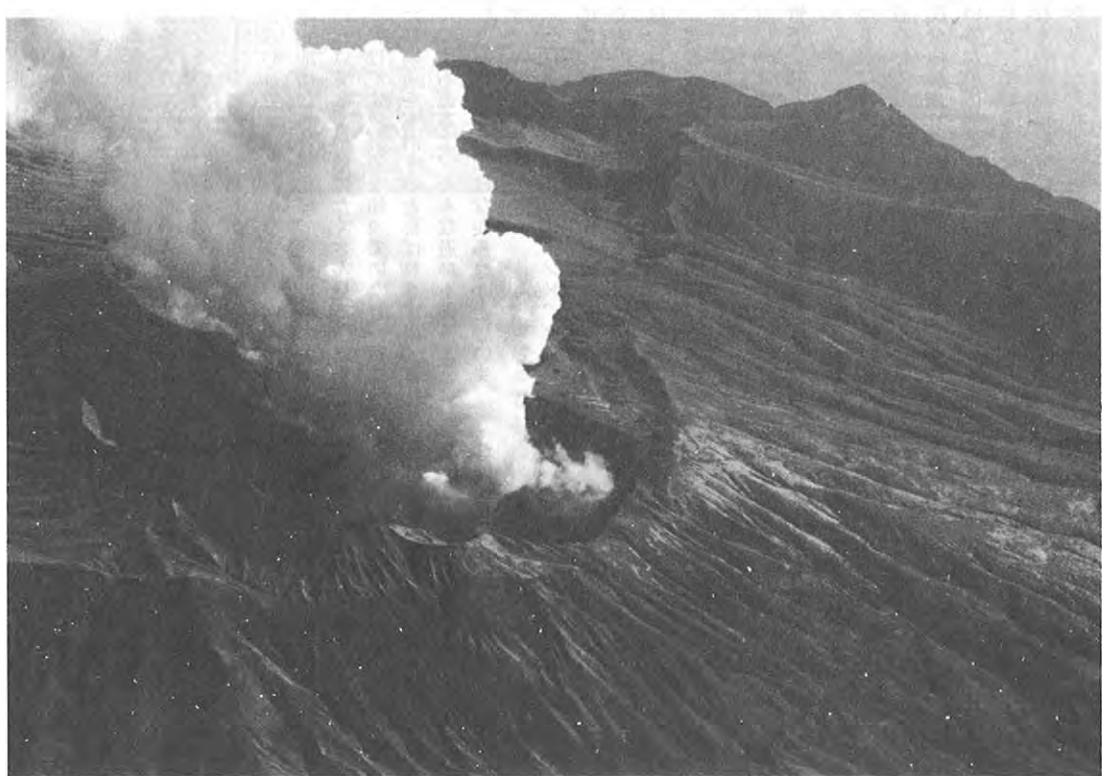
竹下 それは非常にいい発想ですね。それから、熊本の朝鮮餛飩これが心配です。伝統のあるものだからね。一業者がまずいものを販売したとしますと、他のすべての業者にまで影響するわけですね。

田辺 民芸品、伝統工芸品など審査員の方々にお願いして県が指定した品にはマークを貼り自信を持ってお進めしようということにしています。行政面からでもいいものをつくらうという意欲を盛り上げさせていくことは必要だろうと思えます。

竹下 それから観光では、人情の美が必要と思うんです。この基になるのはやはり教育の問題になるような気がするんです。



▲ うたせ網



▲ 阿蘇中岳